

がん闘病の新時代

～暮らしながら受ける長期がん医療～



つばさ支援基金開始から3年が経とうとしています。この間の助成の状況をもつつ、つばさでは「高額療養費制度を改善」するよう再三要望してきました。しかし要望は叶うかみえて実現しないまま、高額化する一方のがん医療費のもと、多くのがん治療者（患者）が「明日には経済事情で命を断念しなければならないか」という不安な状況にさらされたままです。

また、すばらしい薬の開発によって働きながら治療継続が可能になった時代ですが、がん患者であるという事実は「働かなければ支払できないにも関わらず」就労の機会が均等に提供されているとは言えない、というのが当事者の実感です。

働きたい、そして、自分らしく生きたい。この願いはどうなるのか。治療費と治療選択、長期治療と就労、経済支援活動等々、それぞれの立場から経験を提示し、解決策や方向性を模索します。

日時 3/17(日) 13:00~16:00 **場所** 早稲田大学 国際会議場 第三会議室

主催: つばさ支援基金拡大プロジェクトチーム **共催:** NPO法人血液情報広場・つばさ/NPO法人日本臨床研究支援ユニット **協力:** 早稲田大学法学部菊池ゼミ・生活とがん医療費研究チーム

I部

進行 橋本明子

はじめに

つばさ支援基金 これまでの活動報告

報告者

NPO法人血液情報広場・つばさ理事長／つばさ支援基金代表 橋本明子
NPO法人日本臨床研究支援ユニット（J-CRSU） 塚原幹子

聴いてみよう

1. がん医療と暮らし・教育

- 医療を社会保障の視点からみて 早稲田大学法学学術院 菊池馨実先生
- がん治療による<支障>を受け入れつつ学ぶ・暮らす 国立成育医療センター 佐藤聡子先生

2. 働く・闘病する・自分らしく生きる

- 働いてから病気になった場合 つばさ支援基金 新田一郎
- 働き始める前に病気になった場合 つばさ支援基金 白鳥麗子

II部

語り合おう

私の実感と実践 ー治療、仕事、暮らし方ーこれからへの希望と取り組み

聴き手

新田一郎
白鳥麗子

語り手

浅野史郎さん（元宮城県知事）／大橋晃太さん（医師）／櫻井公恵さん（GISTERS.net）
樋口大悟さん（俳優）／矢萩淳さん（テノール歌手）／山口鋭一郎さん（MDS（骨髄異形成症候群）連絡会）and more ...（たくさんの方々が発言お願い中。あなたもいかがですか？）

まとめ

2013年の計画

司会

橋本明子

菊池ゼミ有志 / つばさ支援基金拡大プロジェクトチーム

がん闘病の新時代

～暮らしながら受ける長期がん医療～



会場案内

早稲田大学 国際会議場 第三会議室

早稲田大学 総合学術情報センター

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-20-14

- 東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩10分
- 都電荒川線「早稲田駅」徒歩5分
- JR山手線／西武新宿線「高田馬場駅」徒歩20分

お問い合わせ先： NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503



つばさ支援基金

慢性骨髄性白血病 (CML)、骨髄異形成症候群 (MDS)、
消化管間質腫瘍 (GIST)、多発性骨髄腫 (MM) への
長期治療中経済困難者のための医療費助成基金

NPO法人血液情報ひろば・つばさが行なう助成基金です。
長期にわたって上記4疾患への治療費を払い続けてきて、月額44,000円の支払いに
困難が生じている、という方々を対象として医療費助成の応募を受け付けます。